

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

**平成28年度 石狩川下流河川総合学習支援業務
調査船等を活用した学習支援活動 第7回**



- ◇平成28年7月23日(土) 12:40~14:30
- ◇参加者 江別市内小学生4年生~6年生(公募による参加者)
児童 32名 江別市役所 4名 計 36名

【学習コース】 弁天丸江別コース(江別河川防災ステーション→新石狩大橋往復)

【学習行程】

時刻	学習内容	
	1班	2班
12:40~13:20	弁天丸乗船(船上から川を観察)	川やダム、排水機場の仕組み学習
13:25~14:05	川やダム、排水機場の仕組み学習	弁天丸乗船(船上から川を観察)
14:05~14:30	アンケート記入、おわりの会	

【学習内容】

◇弁天丸

- 1.船上から石狩川の大きさを体感
- 2.川や鳥、植物などの自然を観察
(ショウドウツバメの巣観察)
- 3.王子製紙の取水口と水利用を学ぶ
- 4.カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習

◇江別河川防災ステーション

- 1.江別のまちと石狩川の歴史学習
- 2.生活や産業に欠かせない水
- 3.江別のまちが港で栄えた歴史(舟運、王子製紙)、外輪船の仕組み
- 4.洪水を防ぐための対策(捷水路、遊水地、ダム、排水機場)を模型で学ぶ

【参加者からのアンケート】

◇弁天丸での学習はどうでしたか

- ・外にいろんな橋やせんろや工場が見えて、ものすごくたのしかった。
- ・魚が見えなかった。今度は釣りをしてみたい。
- ・クイズもあって外に出て探るのが楽しかったです。
- ・色々な景色が見れて楽しかった

◇川やダムのお話など、自然環境学習はどうでしたか

- 川のしくみや川に住んでいるいきものがわかってよかった。
- 川やダムのことをあまり知らなかったので、知らなかったことがいっぱいわかりました。
- 模型などを使っていて、昔のこととか、上流、中流、下流のことがよくわかりました。

◇特に印象に残ったことは何ですか

- 弁天丸のデッキで魚や鳥を見たこと。
- 千歳川や石狩川の風景がとてもきれいで感動しました。
- 弁天丸の水しぶきが、とてもきれいで、心に残りました。

【実施状況写真】



昔の洪水のおはなし



蛇行した川は大雨が降ると…



ショウドウツバメの巣を見つけました



水深はどれくらいかな



地図で確認してみよう



どんな川があるのかな